

(別紙報告様式)

鳥獣被害防止総合対策事業の評価報告(令和5年度報告)

市町名: 府中市

1 事業評価報告

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始 時期	利用率・ 稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績						事業実施主体の評価
										被害金額			被害面積			
										目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	
府中市有害鳥獣捕獲 協議会	市内全域	R2年度	サル イノシシ	個体数調整 (ICTシステム+大型囲いわな)	1基	府中市有 害鳥獣捕 獲協議会	R3.3.24	100	捕獲頭数を増やし、農作 物被害の軽減を図ること ができた。	297万円	498万円	32%	3.14ha	5.28ha	32%	市内全域で箱わなを活用する ことで捕獲体制の拡充を図る ことができた。
		R3年度	イノシシ	個体数調整 (パイプ連結式箱わな)	14基		R3.10.13	100	捕獲頭数を増やし、農作 物被害の軽減を図ること ができた。	295万円	342万円	84%	3.11ha	3.93ha	74%	市内全域で箱わなを活用する ことで捕獲体制の拡充を図る ことができた。
		R4年度	サル イノシシ	個体数調整 (大型囲いわな+止め刺し用わな)	1基		R4.10.28	100	捕獲頭数を増やし、農作 物被害の軽減を図ること ができた。	297万円	329万円	89%	3.14ha	3.40ha	92%	市内全域で箱わなを活用する ことで捕獲体制の拡充を図る ことができた。
			イノシシ	個体数調整 (パイプ連結式箱わな)	2基		R4.10.28	100	捕獲頭数を増やし、農作 物被害の軽減を図ること ができた。	295万円	316万円	93%	3.11ha	3.31ha	94%	市内全域で箱わなを活用する ことで捕獲体制の拡充を図る ことができた。

注1)被害金額及び被害面積の目標欄については、対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載してください。

注2)達成率の算出方法については「実績値(=基準年値-実績値)/目標値(=基準年値-目標値)」であるとして算出してください。

2 第三者の意見

コメント: 広島県 東部農林水産事務所 林務課長
効率的で、効果の高い手法により個体数調整を行い、年々、鳥獣被害を減減してきており、被害金額・被害面積ともに概ね目標値に近い実績を出すことができています。また、先進的な捕獲手法を意欲的に活用し、他所の被害防止活動の取り組みの参考となる実績を作っています。今後も引き続き捕獲体制を拡充し鳥獣被害が軽減されていくことを期待します。

注)第三者の名前・所属・役職等を記載のこと。